

村野藤吾の傑作を知るための小さな旅——
いつ見ても発見がある。何度見ても謎めいている。
建築家の思考と創造がここに「在る」。

目黒区総合庁舎 建築ガイドツアー

村野藤吾設計
旧千代田生命本社ビル

主催：(公財) 目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館 共催：目黒区



photos: Ryota Atarashi

目黒区総合庁舎(1966年竣工/旧千代田生命本社ビル)は、建築家・村野藤吾(1891-1984)が情熱を傾けたオフィスビルの傑作です。

建築ガイドツアーは2004年に始まり、毎回多くの方々にご参加いただけてきました。この度は、毎年恒例の建築家ガイドの案内で見どころを満喫する「じっくり見るコース」のほか、建築見学が初めての方でも村野建築を楽しめる「楽しく見るコース」、外国の方向けの「英語で見るコース」で、村野の思考と創造が詰まった建築空間を実際に味わいながら巡ります。今年は〈和室〉の入室鑑賞も再開します! 皆様のご参加をお待ちしております!

設定コース

- A じっくり見るコース** 見どころを満喫、建築家ガイドが全体を解説するコースです
- B 楽しく見るコース** 建築見学が初めての方も気軽にご参加いただけるコースです
- C 英語で見るコース** 外国の方向け、英語でご案内するハイライトコースです

開催日時(各日14:00~16:00)

2024年 4月14日(日) A・B / 4月27日(土) A・C
5月18日(土) A・B / 5月25日(土) A・C

開催地

目黒区総合庁舎(東京都目黒区上目黒 2-19-15)

- 解説： 目黒区美術館建築ガイドスタッフ
- 対象： 中学生以上
- 定員： 各日50名 事前申込制(申込期間あり/応募者多数の場合は抽選)
- 参加費：600円(資料代、保険代を含みます)
- 内容： 複数のグループに分け、1グループにつきガイドスタッフ1名がご案内します

【申し込み方法】

- ◎Webサイトから： 目黒区美術館ウェブサイトの申込専用フォームで
- ◎FAXで： 03-3715-9328 建築ガイドツアー担当宛て (①~⑥を必ず明記)
- ◎ハガキで： 〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 目黒区美術館 建築ガイドツアー担当宛て (①~⑥を必ず明記)

〈申し込みに必要な情報〉

- ①希望日 ②希望コース ③申込者氏名(代表者のみ) ④電話番号 ⑤メールアドレス、FAXなどの連絡先(ハガキ申込の方は住所を明記) ⑥参加人数(申し込み一通につき2名まで)

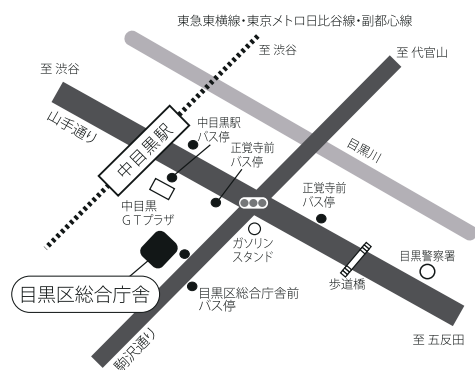
【申し込み期間】

- ・日程 4/14(日)、4/27(土)の回は、3月16日(土)から3月22日(金)まで
- ・日程 5/18(土)、5/25(土)の回は、4月6日(土)から4月12日(金)まで
- ※募集締切後に抽選を行い、4日以内を目途に、当選の方にのみに参加通知をお送りします(当選外の方への通知はいたしません)
- ※Cコースは、Webサイトの申込専用フォームにて先着順(10名程度)で受け付けます



Meguro
Museum of
Art, Tokyo
目黒区美術館

【問い合わせ先】目黒区美術館 建築ガイドツアー担当
電話：03-3714-1201 (代表)
電話：03-3711-9558 (内容についてはこちらへ)
メール：mmat-event@mmat.jp <https://www.mmat.jp>



村野藤吾(1891-1984)の建築は、上越・信越をはじめ、おもに関東から西日本にかけて多く分布しています。2015年に目黒区美術館で開催された「村野藤吾の建築—模型が語る豊饒な世界」展(京都工芸繊維大学美術工芸資料館、村野藤吾の設計研究会との共同企画)をきっかけに、各地にある村野建築の中で、ガイドツアーやさまざまな催事を行っている施設・団体等が集い、連携し、毎年春に各村野建築の情報を発信しています。今年には村野没後40年、各建築を訪れてみてはいかがでしょうか。


*施設名の()は、竣工当時の名称・竣工年です

1 尼崎市立大庄南生涯学習プラザ

(大庄村役場・1937年)
兵庫県尼崎市

村野藤吾初めての庁舎建築(登録有形文化財)。非対称の外観、旧約聖書に由来する装飾、手すりや弧を描く階段などが見どころ。2022年耐震補強工事を経てリニューアルオープン。同市にはもう一つの村野建築、尼崎市庁舎(1962年)がある。尼崎市立歴史博物館では、村野没後40年を記念して、常設展示室6に「村野藤吾と尼崎」コーナーを開設中。また、年2回程度見学会を開催。

[展示] 尼崎市立歴史博物館 常設展示室6にて「村野藤吾と尼崎」
4月29日(月)迄まで




◎尼崎市立歴史博物館
https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/bunkazai_0/index.html

2 宇部市渡辺翁記念会館

(宇部市民館・1937年)
山口県宇部市
<https://wmh.ube-bunzai.jp/>

村野自身が「私の出世作」と語った戦前の代表作。記念柱と緩やかに湾曲した外壁、大理石やガラスブロックを使用したモダンな内装など見どころは多い。戦後何回かの改修工事を経て、2005年国の重要文化財となる。市内には、隣接の宇部市文化会館(1979年)、宇部窒素工業事業所(1942年/現・宇部興産宇部ケミカル工場本事務所)、宇部銀行(1939年/現・旧宇部銀行館)など村野建築が数多く残る。村野建築に関する催事は、山口近代建築研究会等の主催で随時企画。

◎山口近代建築研究会
<http://yamakinken.site/>




3 日本橋高島屋増築

(日本生命館/高島屋東京店増築・1952-65年)
東京都中央区

元は昭和初期に建てられた高橋貞太郎設計の日本生命・高島屋の建物。正面はこの建築様式を尊重し、1952年より村野により増築が行われた。旧館部分と増築部分の融合と対比が見どころ。2009年、百貨店建築として初の重要文化財に指定。高島屋史料館TOKYOは、2019年より、日本橋地域の文化発信拠点として企画展や各種講座を開催。

[展覧会] ジャッカ・ドフニ 大切なものを収める家—サハリン少数民族ウイラと「出会う」
3月16日(土)~8月25日(日)
休館日 ⑧⑨(祝日の場合は開館)、8月21日
◎高島屋史料館TOKYO
<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/tokyo/>



4 関西大学

(1955-1980年)
大阪府吹田市
<https://www.kansai-u.ac.jp/>

1922年に大阪市内から移転しマスタープランなく拡張する千里山の校地に、村野は1949年から1980年に約40の学舎を設計。現在も約半分の建物が残る。その一つ、大学博物館は、1955年に村野によって増築された旧図書館(大阪府指定文化財)。同博物館のFacebookでは、動画「関西大学村野建築ガイド」などで村野建築を紹介。

[建築ガイドツアー]
4月27日(土)
要申込



◎関西大学博物館
<https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/>

5 カトリック宝塚教会(1965年) 宝塚市庁舎(1980年)

兵庫県宝塚市
(教会) <http://www.takarazuka.org>
(庁舎) <https://www.city.takarazuka.hyogo.jp>

村野が戦前から居を構えた宝塚市内には、カトリック宝塚教会、宝塚市庁舎、宝塚ゴルフ倶楽部(1959年)が現存。武庫川河畔に佇む市庁舎は円筒部が議場という特徴的な外観。魅力的な曲線美のカトリック宝塚教会は、付近の阪急電車内からもその優美な姿を見ることができる。宝塚まち遊び委員会は2019年より両建築のガイドツアーを開催。

[建築ガイドツアー]
秋頃に開催予定




◎一般社団法人宝塚まち遊び委員会
<https://www.machiasobi.net/>

6 目黒区総合庁舎

(千代田生命本社ビル・1966年)
東京都目黒区
<https://www.city.meguro.tokyo.jp>

戦後の村野の代表作、千代田生命保険相互会社の本社ビルだった建物で、2003年に目黒区総合庁舎として開庁。その際、目黒区は建築の文化的価値を尊重しながら用途変更の改修工事を行い、村野の意匠の重要な部分は今も当時の姿をとどめている。目黒区美術館は、目黒区美術館は、2004年から毎年春に建築ガイドツアーを行っている。

[建築ガイドツアー]
4月14日(日)、4月27日(土)、5月18日(土)、5月25日(土)
要申込



◎目黒区美術館
<https://www.mmat.jp>


展覧会のご案内

村野藤吾没後40年を記念し、ハケ岳美術館では企画展と講演会を開催します!

「建築家 村野藤吾とハケ岳美術館」展

4月1日(月)~6月2日(日)
会期中無休

ハケ岳美術館・原村歴史民俗資料館



村野藤吾

[講演会・トーク]
4月29日(月)祝 講師: 藤森照信(建築史家、江戸東京博物館館長)
5月11日(土) 講師: 松隈洋(神奈川大学建築学科教授)
6月2日(日) 出演: 藤田早穂子・竹中聡子(村野藤吾遺族)

[館長による建築ガイドツアー]
4月28日(日)、5月26日(日)


※参加方法は主催館ウェブサイト等でご確認ください

7 ハケ岳美術館・原村歴史民俗資料館

(ハケ岳美術館・1979年)
長野県諏訪郡原村

山脈や連峰を思わせるドーム屋根が連なるこの美術館は、村野最晩年の作品。原村出身の彫刻家・清水多嘉示の絵画・彫刻、村内出土の縄文土器を展示。彫刻のためのドーム状空間と絵画などの平面用の直線壁が組み合わせられた形状が独特。天井から絞り吊りされたレースのカーテンは照明をやわらげ、落ち着いた雰囲気をつくっている。

◎ハケ岳美術館・原村歴史民俗資料館
<http://yatsubi.com>



8 玉翠園・谷村美術館

(谷村美術館・1983年)
新潟県糸魚川市

田園地帯の一角に建てられた、彫刻家・澤田政廣の作品を展示する、村野最晩年の私設美術館。2023年に開館40周年を迎えた。木造回廊に囲まれた前庭と、粗い質感の壁による抽象的な外観の対比が見事で、シルクロードの砂漠の遺跡をイメージして設計されたという。内部空間は、6つの展示室が有機的につながっている。

◎玉翠園・谷村美術館
<http://gyokustuien.jp>

